

米沢興讓館SSH FAQ

Q SSHとは何ですか？

A SSHは、スーパーサイエンスハイスクール（以下、SSHと略します）の頭文字で、文部科学省による研究開発指定校です。未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実をはかる取り組みです。

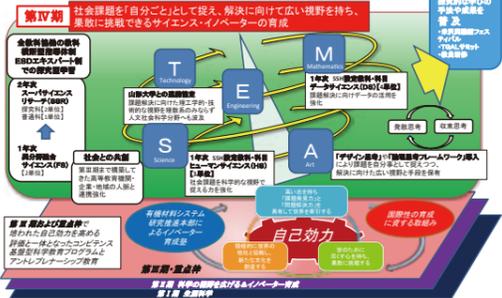
全国で約200校がSSHに指定されており、これは全国の高等学校の4%程度で、日本有数の進学校などが指定を受けています。

本校は、現在4回目の指定を受けており、「未来に果敢に挑戦できる科学技術系人材の育成」を研究開発課題として、令和4年度〜令和8年度まで5年間取り組みます。

Q 前回の時と今回のSSH指定での違いは？

A 今回のSSH指定においても、進学実績を上げながら、国際プレゼンテーションコンテスト「Made to Move Communities」での特別賞やサイエンスキャッスル2022東北大会口頭発表最優秀賞、全国高等学校総合文化祭自然科学部門出場（県探究活動課題研究発表会物理領域優秀賞・生物領域優秀賞）など、前回の指定から引き続き、活動の成果が目に見えて出ています。これまでのSSHの取り組みでの山形大学工学部と連携した高度な理数教育はそのままに、これからの時代を切り開くため「データサイエンス」の学びや社会課題を「自分ごと」とするための方策として「デザイン思考」の学びを導入し、新たに「米沢興讓館STEAM教育」と称し教育活動を実践していきます。左図は、

今回の取り組みの概念図です。



Q 入学してからのSSHとしての取り組みの概要はどのようなものですか？

A まず、1年生全員を対象として学校設定教科・科目「異分野融合サイエンス」を展開していきます。これは、全教科が協力し、様々な学問領域を融合させ、大学や研究機関等と連携を図りながら体験的な実験講座や演習等を行っていくものです。低学年の段階で様々な分野を「自然科学」の切り口で学ぶことにより、自

然科学に対する興味・関心が高まる取り組みとなります。さらに、これら低学年時の学びによって、科学の面白さや奥深さに気づき、そのような学問をさらに深く学んでいきたいという生徒に対しては、2年生以降からサイエンスイノベーター（卓越した研究者）の素養を育む研修等に取り組んでいきます。日本の将来を担う研究者になるためには、豊かな表現力や国際性が備わっている必要があるため、国語科や英語科と協力しながら、海外研修も実施しています。

Q SSHがわかりやすくなるような、具体的取り組みを教えてください。

A 山形大学工学部と連携した様々な取り組みがあります。例えば、スーパーサイエンスリサーチです。高等教育機関と連携することで、課題研究の質的向上を目指しています。そのために、山形大学工学部に在籍して

いる海外の留学生が毎週ティーチングアシスタントとして来校し、英語で生徒の研究を支援してくれています。

他にも様々な校外研修活動があります。関西方面へのサイエンス研修では全国SSH生徒研究発表会に参加しながらスーパーコンピュータ「富岳」等の科学関連施設研修を行っています。

海外研修では平成27年3月に姉妹校協定を締結した国立台湾師範大学附属高級中学へ訪問し、お互いの研究内容を英語で発表する機会を設けています。

きみたちの

を大切にします。



山形県立米沢興讓館高等学校 SSH企画部
 山形県米沢市大字笹野二〇一番地
 TEL0238-3814741
 FAX0238-3812531
 yonekojo@pref.yamagata.ed.jp



米沢興讓館SSH facebookページ

深める



コースパーサイエンスクラブ・サイエンスリーダー育成塾



1・2年:校内探究活動発表会



2年:関西方面サイエンス研修



3年:ハイレベル科学実験講座

日本の、世界の将来をより良くするため、
私達は大好きなことに一生懸命取り組む

新たな時代の最先端教育

ワクワクがとまらない

科学的なものの見方や考え方で、様々な
学問への興味・関心を広げる・つなげる



1年:東京探究研修「機械・エネルギー工学と社会」コース



1年:異分野融合サイエンス「デザインと工学」コース



2年:グリーンイノベーション・ライフイノベーション実験講座



1年:異分野融合サイエンス「マテリアルサイエンスと人間生活」コース



3年:全国SSH生徒研究発表会



3年:米沢興譲館サイエンスフォーラムin山形大学



2年:東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会



2年:海外研修(台湾)



1年:米沢興譲館探究フェスティバル[子ども向け科学実験講座]



1年:米沢興譲館探究フェスティバル[子ども向けプログラミング講座]



3年:SSHサマースクール[中学生向け「探Qラボ」]

この面白さを、
「未来の科学者の卵」に
伝えずにはられない

伝える

高める

日本の、世界の仲間達と切磋琢磨し、
日頃の研究成果を発表しあうことで、
お互いを高める